



# ちよつと谷戸沢



## R7年度谷戸沢処分場でみられる希少種※たち

埋め立て終了後の失われた里山的自然環境の再生のため、様々な自然再生のとりくみが丁寧に根気強く行われてきました。その結果R7年9月に自然共生サイトに認定され、いまでは都内で少なくなった希少な動植物が数多くみられるようになりました。今年度谷戸沢処分場で確認したそれらの生き物たちの一部をご紹介します。

カワラナデシコ

ナデシコ科 *Dianthus superbus* var. *longicalycinus*

本州～九州の草原、河川敷、林縁などの向陽地に生える多年草。都内全域に分布していたが、他のエリアでも減少の一途をたどっている。



東京都：EN 環境省：－

エビネ

ラン科 *Calanthe discolor*

北海道（西南部）～南西諸島に分布する多年草。花期は4～5月。都内では、区部から多摩地域にかけて、台地・丘陵・山地までの常緑または落葉樹林内、竹林などに生育する。



東京都：NT 環境省：NT

ツキノワグマ

クマ科 *Ursus thibetanus*

本州以南に分布し、分布域を広げている。九州では地域絶滅。胸部の三日月形の白い斑紋は存在しない個体もいる。植物質に偏った雑食性で、秋期に堅果で体脂肪を蓄える。



東京都：NT 環境省：－

ニホンカモシカ

ウシ科 *Capricornis crispus*

本州、四国、九州に生息する日本固有種。低山帯から亜高山帯の森林、疎林に生息。黒色の短い角がある。広葉草本、ササ類を選択的に採食。単独性で両性ともになわばりをもつ。



東京都：VU 環境省：－

フクロウ

フクロウ科 *Strix uralensis hondoensis*

九州以北で留鳥として平地から山地の樹林に生息。ネズミ類、鳥類などを獲る。樹洞や巣箱、猛禽類の古巢、人家の屋根裏などを営巣に利用する。最近区部でも生息している。



東京都：NT 環境省：－

ハヤブサ

ハヤブサ科 *Falco peregrinus japonensis*

北海道、本州では留鳥または漂鳥。ネズミ類や小鳥、昆虫類を食べる。都内では海岸の埋立地や河川敷の草地の他、住宅地等で、営巣しており分布は局所的だが増加傾向にある。



東京都：CR 環境省：VU

トウキョウサンショウウオ

サンショウウオ科 *Hynobius tokyoensis*

全長は8～13cm程度。山間の水田や湧水の溜まり水で2～4月頃繁殖。変態後は周囲の森林の地中で生活。関東地方の千葉県・神奈川県・東京都・埼玉県・栃木県に分布する。



東京都：EN 環境省：VU

ニホンマムシ

クサリヘビ科 *Gloydius blomhoffii*

全長40～65cm程度。都内では南多摩、西多摩の丘陵地、山地を中心に分布し、低地から山地の森林、河川、田畑等で見られる。鼻孔と目の間に熱を感じるためのピット器官がある。



東京都：EN 環境省：－

オオムラサキ

タテハチョウ科 *Sasakia charonda charonda*

日本の国蝶で、北海道、本州、四国、九州に分布。開張75～100mm程度。年1回発生し、幼虫はエノキやエゾエノキを食べる。♂翅表の基半部が濃紫色で、♀の地色は一様に濃褐色。



東京都：NT 環境省：NT

ヘイケボタル

ホタル科 *Aquatica lateralis*

都内では平地から低山地に生息する。産卵場所は水辺の苔や草の茎等。幼虫は水生で主に湿地や水田等の止水域に生息し、巻貝を食べ、土中で蛹になる。成虫は初夏から夏に発生。



東京都：VU 環境省：－

スジエビ

テナガエビ科 *Palaemon paucidens*

額角を含めて体長5cmほどのエビ。川の下流から中流域、大型湖や池沼、河口近い汽水域、止水の水草の間や緩やかな流れの中等の多様な環境に生息する。



東京都：留意 環境省：－

ケシゲンゴロウ

ゲンゴロウ科 *Hyphydrus japonicus*

体長3.8～5.0mm。水生植生の豊富な池沼や湿地に生息する。北海道、本州、四国、九州に分布。全国的にも近年の減少が目立っている。東京都下では、古い記録があるのみ。



東京都：－ 環境省：NT

※東京都レッドデータブック2023（西多摩地域）  
環境省レッドリスト（2025植物・菌類、2020動物）

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類 NT:半絶滅危惧 DD:情報不足  
上記に加え 留意:留意種